

令和6年度事業報告書

対面型の就職イベント等について計画どおり実施したほか、岩手日報タブロイド版、いわて就職マッチングラジオにより、求職者の親世代に向けた県内企業の認知度向上に取り組みました。就職活動交通費等支援制度については、新たに首都圏を中心にSNS広告を実施しました。資産の運用については、資金運用計画に基づき運用を行い、計画を上回る利息収入を確保しました。

1 就職イベントの開催

(1) いわて就職マッチングフェア（県内）

No	名称	開催日	出展企業	参加者	備考
1	Ⅱ	令和6年4月27日（土）	156社 (138社)	139名 (189名)	
2	Ⅲ	令和6年8月10、11日 (土、日・祝)	122社 (66社)	178名 (162名)	・いわておかえりプロモーション(県主催) ・セミナー及び個別相談(岩手キャリア形成・リスクリング支援センター主催)
3	in 県南	令和6年10月5日(土)	68社 (68社)	69名 (100名)	セミナー及び個別相談(岩手キャリア形成・リスクリング支援センター主催)
4	Ⅳ	令和6年11月16日(土)	141社 (140社)	129名 (204名)	2024 グローバルキャリアフェア in 岩手(国際交流協会と合同開催)
5	Ⅰ	令和7年2月15日(土)	162社 (187社)	227名 (192名)	セミナー(岩手キャリア形成・リスクリング支援センター主催)
合計			649社 (599社)	742名 (847名)	
1回当たりの平均			129.8社 (119.8社)	148.4名 (169.4名)	

(注1) 出展企業、参加者の下段は、前年同時期のイベントの数値

(注2) No.1、No.4、No.5の会場は岩手産業文化センターツガワ未来館アピオ（滝沢市）

No.2は、いわて県民情報交流センターアイーナ（盛岡市）、No.3は、ホテルシティプラザ北上（北上市）

(2) 岩手県U・Iターンフェア（県外）

東京と仙台でタレントをゲストに、セミナー等も実施して開催しました。

東京は、県が実施した全県移住フェア「THEいわてDAY」と合同で開催しました。

No.	会場	開催日	出展企業	参加者	備考
1	東京	令和6年8月24日(土)	35社 (30社)	405名 (583名)	県と合同開催
2	仙台	令和7年1月18日(土)	43社 (42社)	61名 (74名)	・就活セミナー(学生向け) ・転職セミナー(社会人向け)

(注1) 出展企業、参加者の下段は、前年同時期のイベントの数値

(注2) No.1の会場は、東京交通会館（東京都千代田区有楽町）、No.2は、仙台国際センター（仙台市）

2 関係機関との連携

(1) 未来のワタシゴト探究会議〈主催：岩手県〉

この事業は県が令和4年度から開催していますが、高校生が「社会課題」や「地域課題」の視点から、岩手の大学等や企業がどのように課題解決に向けて活動をしているかを知ること、岩手で学べる教育・研究内容や県内の業種の企業について理解を深めることを目的としています。

財団ではバス費用の一部を支援しました。

県が実施した参加高校生からのアンケートでは、「岩手での学びに対するイメージが変わりましたか」の質問で90.4%が「変わった」との回答結果となるなど、高校生の関心が高い効果があった取組となりました。

この事業は、令和7年度から財団の主催となることから、県と随時、事前準備のための打合せを実施しました。

【参考】令和6年度未来のワタシゴト探究会議の開催結果

区 分	内 容
開催日時	令和6年12月24日（火）10：00～16：25
開催会場	いわて県民情報交流センターアイーナ8階
参加者	岩手県内の20の高等学校1、2年生、1校の中学校 501名 盛岡第三高等学校 盛岡第四高等学校 盛岡北高等学校 盛岡商業高等学校 平舘高等学校 雫石高等学校 紫波総合高等学校 盛岡市立高等学校 盛岡白百合学園 花巻農業高等学校 花北青雲高等学校 花巻東高等学校 北上翔南高等学校 西和賀高等学校 金ヶ崎高等学校 大東高等学校 大船渡高等学校 釜石高等学校 福岡高等学校 軽米高等学校 一関第一高等学校附属中学校
出展者	大学2校、企業・団体49社

3 就職活動交通費等の支援

制度内容の周知について、初めて首都圏を中心にグーグルでの検索広告を1ヶ月程度、Xでの広告発信を1ヵ月程度実施したほか、制度チラシの関係機関への送付や、財団ホームページでの周知に取組みました。

交通費については岩手県U・Iターン就職フェア in 仙台への参加を対象とした場合の特例を設けました。

【支給実績】

単位：件数

区分		東北	東北以外	計	支給金額（円）
交通費	フェア参加	48（55）	75（102）	123（157）	990,000（1,295,000）
	職場見学等	56（58）	123（112）	179（170）	1,510,000（1,410,000）
	計	104（113）	198（214）	302（327）	2,500,000（2,705,000）
宿泊費		@ 5,000		8（10）	40,000（50,000）
		@ 7,500		8（5）	60,000（37,500）
		@ 10,000		17（9）	170,000（90,000）
計				33（24）	270,000（177,500）
合計				335（351）	2,770,000（2,882,500）

（注）（ ）内は令和5年度実績

【参考】

(1) 交通費支援

ア 支給対象

いわて就職マッチングフェアへの参加、職場見学、個別相談会、インターンシップ等、採用試験・面接等への参加

イ 支給額

東北地区（岩手県を除く）から参加した場合 5,000 円支給

東北地区以外から参加した場合 10,000 円支給

ウ 仙台市開催の特例

宮城県以外の東北地区（岩手県を含む。）から参加した場合 5,000 円支給

東北地区以外から参加した場合 10,000 円支給

(2) 宿泊費支援

県外の学生が、県内企業のインターンシップ等に参加するため、2泊以上の宿泊で支払額が10,000円以上となった場合に、一律に以下のとおり支給

- ・ 支払額が10,000円以上～15,000円未満 5,000 円
- ・ 支払額が15,000円以上～20,000円未満 7,500 円
- ・ 支払額が20,000円以上 10,000 円

(3) 申請回数

年度内（4月から3月）で一人2回を限度

4 就職支援情報の収集及び提供

(1) インターネットによる情報発信及び求職者登録の強化

財団ホームページでの企業情報の充実を図るため、各企業に対し登録情報の随時更新や、フェア開催時に企業及び利用者に登録を働きかけたほか、利用者登録促進のための宣伝チラシを増刷し、関係機関や大学等に送付した結果、登録企業数及び利用者登録数は増加しました。

(2) 財団ホームページの強化

毎日Xにより、就職イベントやイベント出展企業、ラジオ番組紹介企業の情報等を発信したほか、登録企業や利用登録者に対して、定期的に活用方法のメリット等をメルマガで配信しました。

訪問件数（月平均）、アクセス件数（月平均）は、両方とも減少しました。

【財団ホームページの活用状況】

区分	令和7年3月末	令和6年3月末	前年度対比	増減
登録企業数	1,230 社	1,187 社	103.6%	+43 社
利用者登録数	4,447 人	4,093 人	108.6%	+354 人
訪問件数(月平均)	31,399 件	34,621 件	90.7%	△3,222 件
アクセス件数 (月平均)	996,464 件	1,631,663 件	61.1%	△635,199 件

(注1) 訪問件数：当財団のホームページを閲覧した延べ回数（人、回）

(注2) アクセス件数：ホームページ中の閲覧された延べページ数（人、回、ページ）

(3) 求職者の親世代等の目線に訴える情報の発信

県内就職を促進するためには親など家族からの後押しも有効なため、県内新聞への広告や生活情報系のテレビ・ラジオ番組への情報提供を実施したほか、2月に開催した「いわて就職マッチングフェアⅠ」では、初めて県内テレビ放送局4社によるテレビコマーシャルを2週間実施しました。

また、令和3年度から県内企業の認知度向上のため始めた下記の事業も継続して実施しました。

ア 「イワテでシゴトする」（岩手日報タブロイド版）の発行

年3回（8/4、12/22、3/1）発行、県内約17万世帯に配付し8月号及び12月号については、県内の全高校生に配布しました。

イ 「いわて就職マッチングラジオ」の放送

年間240回放送し、県内企業の認知度の向上に努めたほか、財団イベント開催周知や開催結果などを発信しました。

5 出稼ぎ就労者の援護

(1) 傷病等事故見舞金の給付

互助会員が就労先で災害・疾病によって死亡又は休業したときなどに、傷病等事故見舞金を給付していますが、令和6年度は傷病等事故見舞金の給付はありませんでした。

【傷病等事故見舞金の給付状況】

給付の種類	事故件数	給付金額
死亡見舞金	—	
傷病見舞金	—	
重度障害見舞金	—	
火災見舞金	—	
治療証明書交付手数料	—	
遺族旅費	—	
計	0	0 円

(注) () 内は事故件数に含めない。

(2) 「出稼ぎの葉（しおり）」の発行

互助会員に対する意識向上と健康で安全な就労を目的として、病気や災害防止の心得などを掲載した「出稼ぎの葉」は10月に発行しました。

(3) 出稼ぎ関係情報の提供

出稼ぎ関係の統計や市町村の関連施策などを載せた「岩手県における出稼ぎの実態」を県と共同で編集し7月から県のホームページで公表しました。

6 法人の運営

(1) 適切な資産運用

令和6年度資金運用計画に基づき、運用年限の分散や高金利債券への買い替えなど財団にとって有利な運用を行った結果、利息収入が増加し、売買に伴う差益も生じました。

令和6年度末時点での資産運用状況は別紙のとおりです。

(2) 計画的、効率的な事業運営

「大学等意向調査」やイベントごとに実施したアンケート結果に基づき、イベントの実施方法や運営方法の改善に取り組みました。

主な改善内容については、令和5年度まで3月に開催していた「いわて就職マッチングフェアⅠ」を1ヵ月早めて2月に開催しました。

また、面談方法について、時間を区切った「ターム制」を導入したことにより、求職参加者のほとんどが、3カ所程度は出展者ブースを訪問する仕組みとしたことや、出展者用ストラップの着用と求職参加者の名札を判別しやすくしたことなどです。

これらの改善に対する参加者、出展者のアンケート回答結果では、好意的な意見をいただきました。

(3) 組織パフォーマンスの向上

情報発信強化のため、令和5年度から採用した有期労働契約職員1名を継続雇用し、計7名体制（専務理事兼事務局長、事務局次長、就職支援コーディネーター等5名）で業務を執行し、職員の意欲や能力を引き出せるようなマネジメントに努め、組織運営を行いました。

(4) 理事会運営

令和6年度第1回理事会の開催

日時：令和6年5月22日（水）午前11時から

場所：ホテルエース盛岡

議題：（決議事項）

第1号議案 令和5年度事業報告及び決算の承認について

第2号議案 定時評議員会の招集について

（報告事項）

令和6年度県出資等法人の運営評価について

令和6年度第2回理事会の開催

日時：令和6年11月5日（火）午後1時30分から

場所：ホテルエース盛岡

議題：（報告事項）

1 令和6年度上半期職務執行状況について

2 令和6年度岩手県出資等法人の運営評価レポートについて

（意見交換）

テーマ「令和7年度における主要事業の方向性について」

令和6年度第3回理事会の開催

日時：令和7年3月18日（火）午後1時30分から

場所：ホテルエース盛岡

議題：（報告事項）

令和6年度職務執行状況について

（決議事項）

第1号議案 就職活動支援事業資産の活用について

第2号議案 令和7年度事業計画について

第3号議案 令和7年度収支予算について

(5) 評議員会運営

令和6年度定時評議員会の開催

日時：令和6年6月12日（水）午後1時30分から

場所：ホテルエース盛岡

議題：（報告事項）

令和5年度事業報告について

（決議事項）

第1号議案 令和5年度決算の承認について

第2号議案 評議員の選任について

第3号議案 理事の選任について

第4号議案 監事の選任について

(6) 臨時理事会及び臨時評議員会

理事及び評議員の迅速な選任等を行うため、次のとおり書面決議を行いました。

会議名	決議の日	決議内容
第1回 臨時理事会	4月23日	① 評議員の選任 及川茂、藤澤孝志、小野寺こずえ、上森義則、助川健哉 ② 理事の選任 宗形金吉、山本欣郎、武蔵百合
第1回 臨時評議員会	5月9日	第1回臨時理事会の決議事項と同じ
第2回 臨時理事会	6月12日	① 理事長の選定 藤澤敦子 ② 副理事長の選定 瀬川浩昭、三河孝司 ③ 専務理事の選定 小守健一
第3回 臨時理事会	7月26日	① 理事の選任 保和衛
第2回 臨時評議員会	8月13日	第3回臨時理事会の決議事項と同じ

7 設備投資の実績

(1) 内容

ソフトウェア資産の就職支援システムについて、機能強化を図るため次の改修等を行いました。

ア コンタクト機能の企業と求職者双方の画面表示の修正及び通知機能の追加

イ 開催イベントと併催するセミナーの募集・申込管理方法の改善

ウ イベント出展者（企業、団体、市町村）の申込機能の改良

エ 企業や利用者の登録データ管理方法の改善

(2) 支出額

1,330,120 円

8 就職活動支援事業資産の計画的な活用実績

令和4年度第3回理事会で承認された就職活動支援事業資産（8ページ参照）の令和6年度の活用状況については次のとおりとなりました。

【就職活動支援事業資産活用実績】

単位：円

区分	活用計画	実績		残額
		項目	金額	
情報発信 費用	11,500,000	タブロイド版発行	7,260,000	△576,150
		テレビCM放送	1,650,000	
		マッチングラジオ放送	1,320,000	
		盛岡駅構内等での宣伝広告	982,960	
		県外向けSNS広告	579,940	
		宣伝チラシ作成	283,250	
		小計	12,076,150	
人件費	2,500,000	有期労働契約職員1名分	1,942,931	557,069
		小計	1,942,931	
合 計	14,000,000	合計	14,019,081	△19,081

【参考】「就職活動支援事業資産の計画的な活用について」の承認内容
令和4年度第3回理事会（令和5年3月22日（水）開催）

就職活動支援事業資産の計画的な活用について

1 背景

近年、就職イベントへの参加者が減少傾向となり、より参加者を増加させるためには、ふるさとという定住財団のホームページの情報発信が重要となっている。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で、就職イベントの中止に伴い代替事業として令和3年度から実施した「イワテでシゴトする」の発行や、「いわて就職マッチングラジオ」の放送は、県内企業情報発信の重要な取組となっている。

一方で、特定資産の就職活動支援事業資産（以下「事業資産」という。）については、平成29年度末の金額90,392千円から、令和3年度末の金額159,232千円となり、4年間で68,840千円が積み増しされ（【表1】）、令和4年度も10,000千円程度の増加が見込まれている。

公益財団法人は、利益を内部に溜めずに公益目的事業に充てるべき財源を最大限活用して、無償でサービスを提供し受益者を広げることが求められている。

このような状況を踏まえ、情報発信強化のための費用などで年間の経常費用の増加が見込まれ、資産運用収入のみでは対応が困難なことから、累増した事業資産の有効活用を検討する。

【表1】事業資産の推移

単位：千円

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	合計
年度末残額	90,392	110,396	138,397	147,632	159,232	—
対前年度比増加額金額	—	20,004	28,001	9,235	11,600	68,840

2 事業資産の計画的な活用

財団ホームページ利用登録者数の増加を図るためのホームページや新聞、ラジオ、チラシ作成配付等の情報発信について、今後3年間で積極的に集中的に取り組む必要があることから、計画的に事業資産（159,232,000円：令和4年3月31日現在）を活用するものとする。

- (1) 財団ホームページ、新聞、ラジオ等での情報発信強化
- (2) 情報発信強化に伴う有期労働契約職員（3年間）増員1名の雇用

3 活用計画

令和5年度から令和7年度の3年間で42,000千円程度（想定）を活用すること。詳細は【表2】のとおり。

【表2】活用計画（概算額）

単位：千円

項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	計	備考
情報発信費用	11,500	11,500	11,500	34,500	令和6年度以降については、各年度の事業計画に基づき精査します。
人件費	2,500	2,500	2,500	7,500	
計	14,000	14,000	14,000	42,000	

4 活用後の状況報告

各年度の決算報告時に、事業資産の残高状況について報告するものとする。